

水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

# コスモシリコン

COSMO SILICONE

水性反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料

# コスモレタン

COSMO RETAN

環境改善提案塗料

JIS A 6909 複層塗材 E・RE 適応上塗材  
可とう形改修塗材 E 適応上塗材

# 提案色

近年の流行色を厳選した、カラーバリエーションにしています。



●この見本帳は紙に塗装していますので、実際の色・艶が多少異なる場合があります。予めご了承ください。○は材料が割高になります。  
※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などの調色も可能です。

## COSMO SILICONE

### 特長

## COSMO RETAN

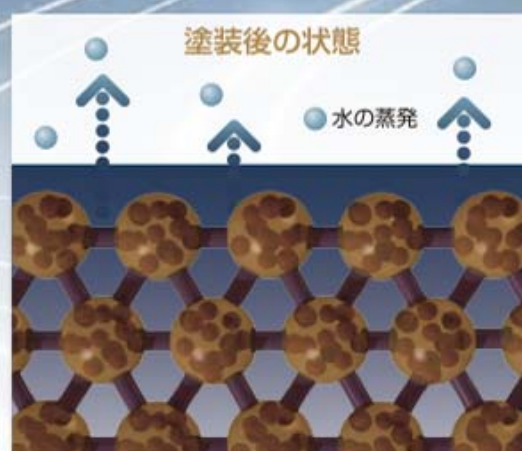
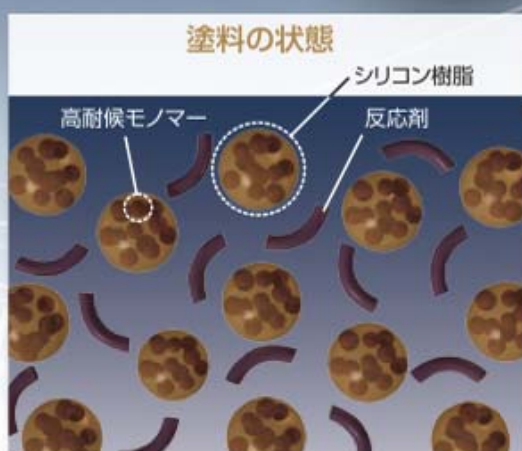
- |          |                        |                                     |
|----------|------------------------|-------------------------------------|
| <b>1</b> | <b>特長</b> 高耐候          | 強靱な架橋塗膜の形成により、<br>耐候性と耐汚染性を向上させました。 |
| <b>2</b> | <b>特長</b> 防カビ・防藻       | 建物の美観と清潔さを保ちます。                     |
| <b>3</b> | <b>特長</b> 低臭・安全（水性・無鉛） | シンナーを使用しませんので、<br>低臭で非危険物です。        |



水性反応硬化技術



〈コスモシリコンのイメージ図〉



耐候性に優れ、汚れにくい強靱な架橋塗膜を形成します。

荷姿・色・艶

荷姿	4kg・15kg
色	白および各色
艶	艶有り

JIS A 6909適合システム

複層塗材E	荷姿
下塗材：VPシーラー白	15kg
エコカチオンシーラー	15kg
マルチタイルコンクリートプライマー-EPO	20kgセット
主 材：アレスマイルラフ	20kg
上塗材：コスモシリコン	
コスモレタン	

複層塗材RE	荷姿
下塗材：VPシーラー白	
エコカチオンシーラー	
マルチタイルコンクリートプライマー-EPO	
主 材：マルチタイルラフRE	20kg
上塗材：コスモシリコン	
コスモレタン	

可とう形改修塗材E	荷姿
主 材：アレスホルダーGII	16kg
アレスホルダーGIIデコ	16kg
アレスホルダーZ	16kg
上塗材：コスモシリコン	
コスモレタン	

塗膜性能

コスモシリコン

試験項目	試験条件	コスモシリコン	
初期性能	光 沢	60°鏡面光沢度	85
	付 着 性	1mm巾 10×10 ゴハン目	100/100
	耐 衝 撃 性	Φ1/2インチ×300g×50cm	異常なし
	伸び率 (%)	フリー塗膜	140
耐久性	耐アルカリ性	23℃水酸化カルシウム飽和水溶液・18時間浸漬	異常なし
	耐 水 性	23℃ 96時間浸漬	異常なし
	促進 耐候性	キセノンランプ法 2500時間 光沢保持率80%以上	合格
	湿冷繰り返しサイクル試験	ホールド工法システム (23℃上水浸漬 18時間 →-20℃の気中 3時間 →50℃の気中 3時間) 10サイクル	異常なし

コスモレタン

試験項目	試験条件	コスモレタン	
初期性能	光 沢	60°鏡面光沢度	85
	付 着 性	1mm巾 10×10 ゴハン目	100/100
	耐 衝 撃 性	Φ1/2インチ×300g×50cm	異常なし
	伸び率 (%)	フリー塗膜	160
耐久性	耐アルカリ性	23℃水酸化カルシウム飽和水溶液・18時間浸漬	異常なし
	耐 水 性	23℃ 96時間浸漬	異常なし
	促進 耐候性	キセノンランプ法 1200時間 光沢保持率80%以上	合格
	湿冷繰り返しサイクル試験	ホールド工法システム (23℃上水浸漬 18時間 →-20℃の気中 3時間 →50℃の気中 3時間) 10サイクル	異常なし



コンクリート・モルタル系素地

吹付タイル（アクリルシリコン樹脂塗料仕上げ）

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1 素地調整	エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率8%以下とする。				
2 下塗り	エコカチオンシーラー	0.13	2時間以上 7日以内	ローラー	無希釈
		0.17		エアレス	
3 中塗り (ベース吹)	アレススタイルラフ 上水	1.0~1.2	16時間以上 7日以内	吹付け	8~10
4 中塗り (パターン吹)	アレススタイルラフ 上水	0.8~1.3	16時間以上 7日以内	吹付け	0~3
5 上塗り (1回目)	コスモシリコン 上水	0.13	2時間以上 7日以内	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	3~12
6 上塗り (2回目)	コスモシリコン 上水	0.13	-	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	3~12

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

吹付タイル（アクリルウレタン樹脂塗料仕上げ）

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1 素地調整	エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率8%以下とする。				
2 下塗り	エコカチオンシーラー	0.13	2時間以上 7日以内	ローラー	無希釈
		0.17		エアレス	
3 中塗り (ベース吹)	アレススタイルラフ 上水	1.0~1.2	16時間以上 7日以内	吹付け	8~10
4 中塗り (パターン吹)	アレススタイルラフ 上水	0.8~1.3	16時間以上 7日以内	吹付け	0~3
5 上塗り (1回目)	コスモレタン 上水	0.13	2時間以上 7日以内	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	7~10
6 上塗り (2回目)	コスモレタン 上水	0.13	-	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	7~10

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

コンクリート・モルタル系素地

アレスホールド工法（アクリルシリコン樹脂塗料仕上げ）

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1 素地調整	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ・ワイヤーブラシ）で除去し、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2 下塗り	アレスホルダー-GII または アレスホルダー-Z 上水	0.3~1.5	8時間以上 7日以内	ローラー	1~10
				エアレス	7~15
3 上塗り (1回目)	コスモシリコン 上水	0.13	2時間以上 7日以内	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	3~12
4 上塗り (2回目)	コスモシリコン 上水	0.13	-	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	3~12

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。  
※塗り替えて下地が脆弱な場合、取込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。

アレスホールド工法（アクリルウレタン樹脂塗料仕上げ）

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1 素地調整	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ・ワイヤーブラシ）で除去し、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2 下塗り	アレスホルダー-GII または アレスホルダー-Z 上水	0.3~1.5	8時間以上 7日以内	ローラー	1~10
				エアレス	7~15
3 上塗り (1回目)	コスモレタン 上水	0.13	2時間以上 7日以内	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	7~10
4 上塗り (2回目)	コスモレタン 上水	0.13	-	ローラー	3~12
		0.16		エアレス	7~10

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。  
※塗り替えて下地が脆弱な場合、取込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。

施工上の注意事項

- ① 気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- ② 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でせい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- ③ 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離（顔料沈降）することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- ④ 押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー（マルチタイルコンクリートプライマー-EPO、浸透形シーラー、ストロングシーラー）をご使用ください。
- ⑤ 軽質モルタル、ALCパネル、高断熱型業サディングおよび発泡ウレタンなどを使用した断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶

- ① 解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- ② ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色差が生じることがありますのでご注意ください。
- ③ 合成皮革、ゴムパッキング、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑性のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- ④ シーリング材の上は塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際の下塗には「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を使用することをお勧めします。
- ⑤ 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- ⑥ 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の入れは必ずとって置き、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。  
詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。  
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。  
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。  
本来の目的以外に使用しないこと。  
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。  
取り扱後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。  
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。  
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。  
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。  
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。  
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。  
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベシキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社



- 本 社 TEL (03)5711-8904 FAX (03)5711-8934  
 北海道販売部 TEL (0133)64-2424 FAX (0133)64-5757  
 東北販売部 TEL (022)287-2721 FAX (022)288-7073  
 北関東販売部 TEL (028)637-8200 FAX (028)637-8223  
 東京販売部 TEL (03)5711-8905 FAX (03)5711-8935  
 中部販売部 TEL (052)262-0921 FAX (052)262-0981  
 大阪販売部 TEL (06)6203-5701 FAX (06)6203-5603  
 中国販売部 TEL (082)262-7101 FAX (082)264-3285  
 四国販売部 TEL (0877)24-5484 FAX (0877)24-4550  
 九州販売部 TEL (092)411-9901 FAX (092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は